

第2回 JMTX 特別ウェビナー

JMTX × AG+OBOG 部会 (Advanced Global Plus: 在外教育施設重点支援プラン) 共催

『テキサス育ち × 日本ルーツ 中・高校生のための進路選択～先輩の声を聞く 日米の大学進学・大学生活について「制度」と「リアル」から考える～』

***以下、ウェビナー中に寄せられた質問と回答となります。個人的な情報については記載できかねますので、ご了承ください。

1. 普通受験はしましたか？何校くらい受験しましたか？小論文を始めるとは、どういうことですか？応募を前提の原稿を書き始めるということですか？奨学金を積極的にやっておけばよかったとは、もっと早くから応募しておけばよかったということ？もっとたくさん出せばよかったということ？

僕は複数校を受験しました。はい、原稿を早めに書き始めるといいです。奨学金はいつからでも出せますが、Senior じゃないと入れないなど、restriction があって見つけるのが難しいです。たくさん出せば、当たる確率も高くなります。

2. SAT の得点の感覚について知りたいです。何点ほどがどの大学に対応するのか、という意味です。

SAT は 1600 点満点で、UT Austin は 1300 点以上とれば入りやすいと思われます。Ivy League などでは 1500 点以上じゃないと入れないと言われていす。SAT の一般的な平均点は大体 1000 点です。(毎年、詳細は推移します。ご自身の受験時に、大学ごとにお調べになることをお勧めいたします。)

3. 梅溪さんに質問です。高校で何個課外活動をするのがおススメですか？興味があっても、色々手を出しすぎるのはやめた方がよいですか？

人それぞれだと思います。せめて積極的にやっているのが二つあるといいと思います。できれば、(リーダーシップや褒賞など) やって何かを得た事が証明できればプラスです。大学は学校の外でも何かをやった事を見つけようとしています。

4. >五味さん：GPA5.0のクラスって、どういうことでしょうか。APのクラスってことですか？

はい、私の場合はAPクラスでした。学校によっては、APの他にはIBなどの5.0クラスを選択できるかと思います。

5.長女がこの夏より High School Senior になります。皆さんはどうして将来の職業やそれを見越した専攻を決めることができたのでしょうか。また進路についてどのような会話をご家族とされましたでしょうか。進路を決めていく際に家族から言われたこと、あるいは言うて欲しかったこと、などあれば教えていただけますでしょうか。

梅溪さん：僕は子供のころから理系をしたいと分かっており、エンジニアリングをしたくなったのも驚きはなかったと思います。家族との会話に関しては、僕の場合は受験しても入れないだろうと思った大学に、親が頑張っても出すように説得されました。こういった言葉で、サポートされていると分かって、すごく良かったなと思います。

6. お二人とも Auto Admit で入られたとのことですが、まわりに Holistic で UT Austin に入った方との違いは何か感じますか？ 現地校がとても競争が激しく、学校全体の 25%以上が Unweighted GPA 4.0 あり、トップ 5%に入ることがとても難しいです。

Auto Admit で入学をしない場合、総合テスト (SAT・ACT) の点数や課外活動に重点を置く学生が多い印象です。

7. こちらは塾があるわけでもないなのに、どうやって良い点数をもらって、しかも課外活動も複数やりながら、トップ 5%に入ったのかが知りたいです。

トップ 5%は高校によって激しく難易度が変わると思います。僕は勉強したり、分からないところがあれば先生に聞いてました。先生によっては、放課後残って手伝ってくれる人もいます。

8. ボランティア活動と研究活動のどちらに比重を置いたほうが良いと思いますか？

どちらがよいと一概に決めるよりも、自分の関心や将来の方向性に合った活動を、継続して深めていくことが大切だと思います。ボランティア活動でも研究活動でも、なぜその活動に取り組んだのか、そこから何を学んだのかを自分の言葉で説明できることが重要です。活動の種類そのものよりも、自分らしいストーリーにつながっているのが大切だと思います。

9. 政治経済についての質問をした者です。質問の意味としては、日本の大学では明確に[経済学部]という学部がありますが、アメリカの多くの大学では[school/college of economic] のようにはっきりした学部がなく、リベラルアーツとして一括にされている印象です。アメリカの Public school で、四年間経済についてのみを学び続けて卒業することはできるのでしょうか。また UT には BA というコースがあることを聞きましたが、具体的にどういった難易度や人気度、内容なのでしょうか。

はい、アメリカの大学でも経済のみを学び続けることは可能です。アメリカの大学の専攻の仕組みとしては、University は様々な College を集めた大きな組織のことをさして、College の中で Major (専攻) を決めて、選択した分野を勉強する、という形になります。例えとしましては、UT Austin で経済を専攻したい場合、UT Ausin, College of Liberal Arts, Economics Major という形になります。